

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名		子どもがのびのび心豊かに育つまち		施策番号・名	12	活力ある学校づくり		基本事業番号・名	12-04	市民の教育参加											
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた方向性等)			
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		特定財源に伴う一般財源		一般財源				
12-04-01	指導室 指導係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 根拠法令等 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )	対象 市民 手段・内容 教育要覧の作成 意図 市民に教育委員会指導室事業を体系的に理解してもらう。	平成22年度	200 (冊)	平成22年度	200 (冊)	平成22年度	100 (%)	100	49	149	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 教育委員会指導室事業を市民に体系的に理解してもらう機会として重要である。	平成22年度	説明欄: 100 所管課長 指導室 片柳 博文	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 教育委員会指導室事業を市民に体系的に理解してもらう機会として重要である。	平成22年度	説明欄: 99 平成20年度 99	説明欄: 99	
	教育要覧作成事業			平成21年度	200 (冊)	平成21年度	200 (冊)	平成21年度	100 (%)	99	50	149		平成21年度		99		平成21年度			99
				平成20年度	200 (冊)	平成20年度	200 (冊)	平成20年度	100 (%)	89	49	138		平成20年度		99		平成20年度			99
				平成20年度	200 (冊)	平成20年度	200 (冊)	平成20年度	100 (%)	89	49	138		平成20年度		99		平成20年度			99
12-04-02	指導室 指導係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 根拠法令等 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )	対象 市立小学校・中学校 手段・内容 学習指導補助員、情報教育支援員の派遣 意図 各校の授業を中心に学習活動の援助を行う	平成22年度	21 (校)	平成22年度	21 (校)	平成22年度	18 (人)	12,476	297	12,773	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 子供たちの様々な教育活動の質の向上を図るため、多様な地域人材や専門性の高い技術のある人材を活用することは必要である。	平成22年度	説明欄: 12,476 所管課長 指導室 片柳 博文	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 子供たちの様々な教育活動の質の向上を図るため、多様な地域人材や専門性の高い技術のある人材を活用することは必要である。	平成22年度	説明欄: 12,412 平成20年度 12,962	説明欄: 12,962	
	学校教育サポート (学力向上支援員・情報教育支援員)事業			平成21年度	22 (校)	平成21年度	22 (校)	平成21年度	69 (人)	12,412	303	12,715		平成21年度		12,412		平成21年度			12,412
				平成20年度	22 (校)	平成20年度	22 (校)	平成20年度	68 (人)	12,962	297	13,259		平成20年度		12,962		平成20年度			12,962
				平成20年度	22 (校)	平成20年度	22 (校)	平成20年度	68 (人)	12,962	297	13,259		平成20年度		12,962		平成20年度			12,962
12-04-03	指導室 指導係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 根拠法令等 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他( )	対象 小中学校児童生徒・保護者・地域関係者・学校協力者 手段・内容 児童・生徒の授業や学校行事をはじめとする学習活動の成果や活動状況を学校ごとにPRする。 意図 特色ある学校づくりの理解を得るため。	平成22年度	8,678 (人)	平成22年度	11,600 (枚)	平成22年度	11,600 (枚)	570	494	1,064	24年度以降に向けた方向性: 廃止(完了・統合含む) 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 特色ある学校づくりの理解を得るための児童・生徒の学習の成果や活動状況をPRすることは重要である。	平成22年度	説明欄: 570 所管課長 指導室 片柳 博文	平成22年度	24年度以降に向けた方向性: 廃止(完了・統合含む) 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 特色ある学校づくりの理解を得るための児童・生徒の学習の成果や活動状況をPRすることは重要である。	平成22年度	説明欄: 487 平成20年度 500	説明欄: 500	
	学校広報事業			平成21年度	8,801 (人)	平成21年度	11,600 (枚)	平成21年度	11,600 (枚)	487	504	991		平成21年度		487		平成21年度			487
				平成20年度	8,732 (人)	平成20年度	11,900 (枚)	平成20年度	11,900 (枚)	500	494	994		平成20年度		500		平成20年度			500
				平成20年度	8,732 (人)	平成20年度	11,900 (枚)	平成20年度	11,900 (枚)	500	494	994		平成20年度		500		平成20年度			500